

池袋から、 文化の居場所、 再発見。

喫茶店や古本屋、百貨店、映画館やギャラリー、かつて街には人々が集い文化の息づく場所がそこかしこにありました。今、地域コミュニティの創造や再生が求められる中、公共ホールに課せられた役割、そしてその実現に必要な発想はどのようなものなのでしょうか。昨年度より好評の講座「公共ホールのつくり方と動かし方を学ぶ」では、どなたでもご参加いただける公開講座とシンポジウムを開催します。まだ、どこにもない、これからの「文化の居場所」や「まちと劇場」について、一緒に考えてみませんか？

立教大学 社会デザイン研究所 主催

日程

2016年1月31日(日)

会場

あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)

公開講座「文化の居場所」
シンポジウム「まちと劇場」

立教大学 社会デザイン研究所 主催

2015

冬期集中講座

公共ホールの新しいかたち / 可能性。

家庭や、学校・職場、ではない「第三の場所(サード・プレイス)」。オープンで、居心地がよく、交流が作り出される場所。これからの公共ホールには、人々があつまり、コミュニティの結び目となるためのデザインが求められています。「公共ホールのつくり方と動かし方を学ぶ」集中講座では、公共ホールの多様な“可能性”と、そこでの“専門人材”のあり方を社会デザインの視点から考えます。夏の講座には、全国各地のホールや自治体職員の方々、舞台芸術の実演家や建築家をはじめ、たくさんの方にお集まりいただきました。発展編の冬期集中講座を、豊島区東池袋の「あうるすぽっと」で行います。現在活動しているホールや、これから設置や改修を予定しているホールに関わっている関係者の方、そして「明日の公共ホール」に関心を持つ方々の参加をお待ちしています。

日程

2016年1月28日(木)～1月31日(日)

会場

あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)

冬期集中講座 受講生募集

2015

公開講座/シンポジウム

入場無料 ※要申込

共催 豊島区、あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科
後援 豊島区観光協会



共催 豊島区、あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)

協力 いわき芸術文化交流館アリオス、NPO法人劇場創造ネットワーク/座・高円寺、小金井市 宮地楽器ホール(小金井市民交流センター)
茅野市民館 指定管理者 地域文化創造、久留米シティプラザ ※平成28年開館予定



平成27年度 文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業

劇場法の要請に応える、公共ホールスタッフのための社会デザイン力養成講座

—地域コミュニティ、共生社会、絆を生み出す場所と事業のマネジメントを学ぶ—

冬期集中講座

A 公共ホールのつくり方と動かし方を学ぶ 2015 冬期集中講座

日程／1月28日(木)～1月31日(日) 会場／あうるすぽっと 3階 会議室B ほか 受講料／9,000円 定員／30名 応募締切／1月18日(月)
 受講対象者／これからの公共ホールに関心を持つ方(ホール制作者、舞台芸術実演家、自治体職員、建築家、コンストラクションマネジメント等建築関係者、それぞれの志望学生等)
 研修制度／宿泊を必要とする受講生(東京・埼玉・神奈川・千葉からの参加者を除く)に、旅費と宿泊費を補助する研修制度を設けています。詳しくは、事務局までお問合せください。

カリキュラム ※冬期集中講座には、1月31日(日)の公開講座とシンポジウムが含まれます。

「社会と劇場の20年～95／15／35～」

日程／1月28日(木)・29日(金) 13:00～18:00
 阪神・淡路大震災、「新世紀エヴァンゲリオン」放映開始、Windows95発売。1995年から20年、わたしたちの社会はどのように変化し、未来を展望しているのでしょうか。社会デザイン、文化政策、そしてまちづくりの視点からこの20年を振り返り、これからの20年につながる公共ホールの在り方を考えます。

「池袋フィールドワーク～社会デザイン／演劇／都市計画～」

日程／1月30日(土) 10:00～18:00
 地域にはどのような可能性と課題があるのでしょうか。公共ホールの役割を発見するため、「社会デザイン」「演劇」「都市計画」のそれぞれの手法を使って、フィールドワークを実践します。グループごとに成果をまとめ、シンポジウム(翌1月31日(日))で発表します。

プレ講座「社会デザインと公共ホール」

日程／1月22日(金) 19:30～21:30 会場／立教大学 池袋キャンパス 15号館(マキムホール)10階 会議室 入場無料・要申込
 「公共ホールのつくり方と動かし方を学ぶ」を初めて受講される方を対象に、これまでの集中講座の概要をご紹介します、社会デザインの入門編講座を行います。

講師

 石川 治江 立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科客員教授 (特非)ケア・センターやわらざ代表理事	 岸 正人 あうるすぽっと (豊島区立舞台芸術交流センター)支配人	 佐藤 信 写真／宮内勝 劇作家、演出家 杉並区立杉並芸術会館 「座・高円寺」芸術監督
 高宮 知数 立教大学社会デザイン研究所研究員 久留米シティプラザ館長	 槻橋 修 建築家、神戸大学工学部准教授 ティーハウス 建築設計事務所主宰	 中村 陽一 立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科教授 社会デザイン研究所長
 西田 司 建築家、東京大学非常勤講師 株式会社オンデザインパートナーズ代表	 松田 正隆 劇作家、演出家 立教大学現代心理学部 映像身体学科教授	

夏期集中講座 受講生のコメント

現在、平成28年4月から予定している施設・設備の改修工事(約1年休館)に向けて準備を進めています。社会デザインという切り口で、公共ホールにどう取り組むのか、中長期的な視点が必要だと思えます。コミュニティの希薄化などの課題解決のために公共ホールが果たす役割を考え、講座の内容を現場で抱える課題の解決に活かしたいと思いました。

(深澤 拳一／武蔵野市 市民部 市民活動推進課 *「武蔵野市民文化会館」改修工事予定)

1990年開館のホールのハード面での制限を感じ、ヒントを得るために講座に参加しました。「理想のハードの公共ホールはなく、運用面での理想はある」というお話をいただき、取り組むべき姿勢を理解しました。まずは、地域のことを見つめ直し、歴史や取り巻く現状をふまえて、公共ホールとしての可能性を探りたいと思います。

(半田 将仁／相模原市民文化財団 相模女子大学グリーンホール)

受講生の例

公益財団法人東京都歴史文化財団、神戸アートビレッジセンター、釜石市教育委員会事務局生涯学習文化課(市民ホール担当)、松山市役所松山駅周辺整備課、株式会社JTBコミュニケーションズ、NPO法人シニア演劇ネットワーク、武蔵野美術大学空間演出デザイン学科、青山学院大学国際政治経済学部国際コミュニケーション学科 ほか

公開講座

B 公開講座「文化の居場所～セソングループの取り組み～」

日程／1月31日(日) 10:00～11:30 会場／あうるすぽっと 3階 会議室B 入場無料・要申込 当日受付あり(100名)
 60年代の新宿紀伊国屋、風月堂、原宿セントラルアパート。70～80年代の西武池袋、渋谷PARCO、六本木WAVE。街には文化が息づく、「文化の居場所」がありました。これまで、そしてこれからの公共ホールはどのような文化の居場所になるのでしょうか。
 夏期集中講座で大好評をいただきました講座の第2弾を、どなたでも聴講いただける講座として開講します。

講師

 片山 正夫 立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科特任教授 公益財団法人セソ文化財団常務理事	 毛利 嘉孝 東京藝術大学音楽学部 音楽環境創造科准教授
---	---

シンポジウム

C シンポジウム「まちと劇場」

日程／1月31日(日) 12:30～17:30 会場／あうるすぽっと 2階 劇場 入場無料・要申込 当日受付あり(250名)
 2012年「劇場、音楽堂等の活性化に関わる法律」(通称、劇場法)が施行され、コミュニティの中での公共ホールの在り方をあらためて問われるようになりました。時期を同じくして築40～60年を迎える全国の公共ホールが立替・大規模改修の時期を迎えており、今後10年間に新しく建てられる公共ホールをあわせると、その数は100館以上にのぼると言われています。
 このような時代の中で、豊島区には、先進的な取り組みをしている「あうるすぽっと」、また平成31年に開館予定の「(仮称)豊島区新ホール」があり、公共ホールを地域の文化拠点としたまちづくりのモデルとして、全国からの注目も集っています。
 本シンポジウムでは、豊島区の文化への取り組みを取り上げながら、これからの地域と公共ホールの在り方について考えます。

パネリスト

 高野 之夫 豊島区長	 吉岡 知哉 立教大学総長	
 石川 治江 立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科客員教授 (特非)ケア・センターやわらざ代表理事	 片山 正夫 立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科特任教授 公益財団法人セソ文化財団常務理事	 岸 正人 あうるすぽっと (豊島区立舞台芸術交流センター)支配人
 中村 陽一 立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科教授 社会デザイン研究所長	 西田 司 建築家、東京大学非常勤講師 株式会社オンデザインパートナーズ代表	 松田 正隆 劇作家、演出家 立教大学現代心理学部 映像身体学科教授

応募要項

参加ご希望の方は以下の項目を記し、メール・FAX・郵送にてお申込ください。
 ①氏名・ふりがな ②所属(勤務先・学校名) ③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス
 ⑥申込のプログラム名 A「冬期集中講座(公開講座、シンポジウムを含む)」
 B「公開講座:文化の居場所」
 C「シンポジウム:まちと劇場」
 ※各プログラム・研修制度は申込先着順となります。お早めにお申込ください。

会場

あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)
 〒170-0013 豊島区東池袋4-5-2 ライズアリーナビル2F・3F
 東京メトロ有楽町線「東池袋駅」6・7出口から直結

お申し込み・お問い合わせ

立教大学 社会デザイン研究所
 文化芸術推進事業事務局(月～金/10時～19時)
 〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1
 Tel/03-3985-4893 Fax/03-3985-4725
 Mail/hall-koza@rikkyo.ac.jp 担当/川口、藤田、森田

